

# 最近の管内経済概況

(2024年12月の経済指標を中心として)

～ 一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している ～

最近の動きをみると、

- 生産活動は、持ち直しの兆しがみられる。
- 個人消費は、改善の動きに足踏みがみられる。
- 観光は、改善している。
- 公共工事は、増加した。
- 住宅建設は、持ち直しの兆しがみられる。
- 民間設備投資は、増加している。
- 雇用動向は、弱含んでいる。
- 企業倒産は、件数、負債総額とも減少した。

全体として、管内経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。  
なお、先行きについては、国際経済の動向等を十分注視する必要がある。

2025年2月20日

照会先：経済産業省 北海道経済産業局  
総務企画部 企画調査課

T E L：011-709-2311 内線 2525

E-mail：bz1-hokkaido-kikakuchosa@meti.go.jp

# 管内経済概況判断の推移

(2025年2月現在)

発表月	2024年9月	10月	11月	12月	2025年1月	2月	前月との判断比較
総括判断	緩やかに持ち直している	<u>一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している</u> (↘)	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している	→
生産活動	一進一退の動きとなっている	<u>一進一退ながら弱含みとなっている</u> (↘)	一進一退ながら弱含みとなっている	<u>持ち直しの兆しがみられる</u> (↗)	持ち直しの兆しがみられる	持ち直しの兆しがみられる	→
個人消費	<u>改善の動きに足踏みがみられる</u> (↘)	改善の動きに足踏みがみられる	改善の動きに足踏みがみられる	改善の動きに足踏みがみられる	改善の動きに足踏みがみられる	改善の動きに足踏みがみられる	→
観光	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	改善している	→
公共工事	<u>増加した</u> (↗)	増加した	<u>減少した</u> (↘)	減少した	<u>増加した</u> (↗)	増加した	→
住宅建設	弱い動きとなっている	<u>低下している</u> (↘)	低下している	低下している	<u>持ち直しの兆しがみられる</u> (↗)	持ち直しの兆しがみられる	→
民間設備投資	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	増加している	→
雇用動向	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	→
企業倒産	件数、負債総額とも増加した	件数、負債総額とも減少した	件数、負債総額とも増加した	件数、負債総額とも増加した	件数は減少、負債総額は増加した	件数、負債総額とも減少した	↘

注：下線部は、前月から判断を変更した部分。

↗ 上方修正    → 据え置き    ↘ 下方修正

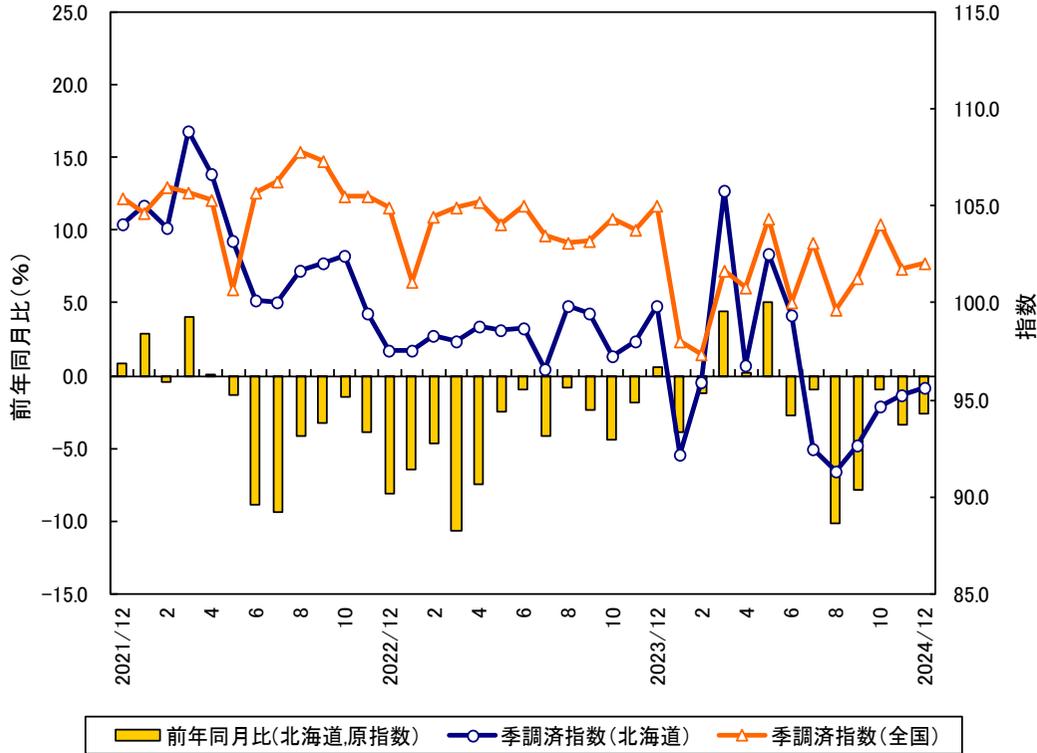
# 生産活動 ～ 持ち直しの兆しがみられる ～

12月の鉱工業生産は、前月比+0.3%と4か月連続で上昇した。前年同月比は▲2.6%と7か月連続で低下した。上昇業種は、一般機械工業など7業種となった。低下業種は、化学・石油石炭製品工業など6業種となった。

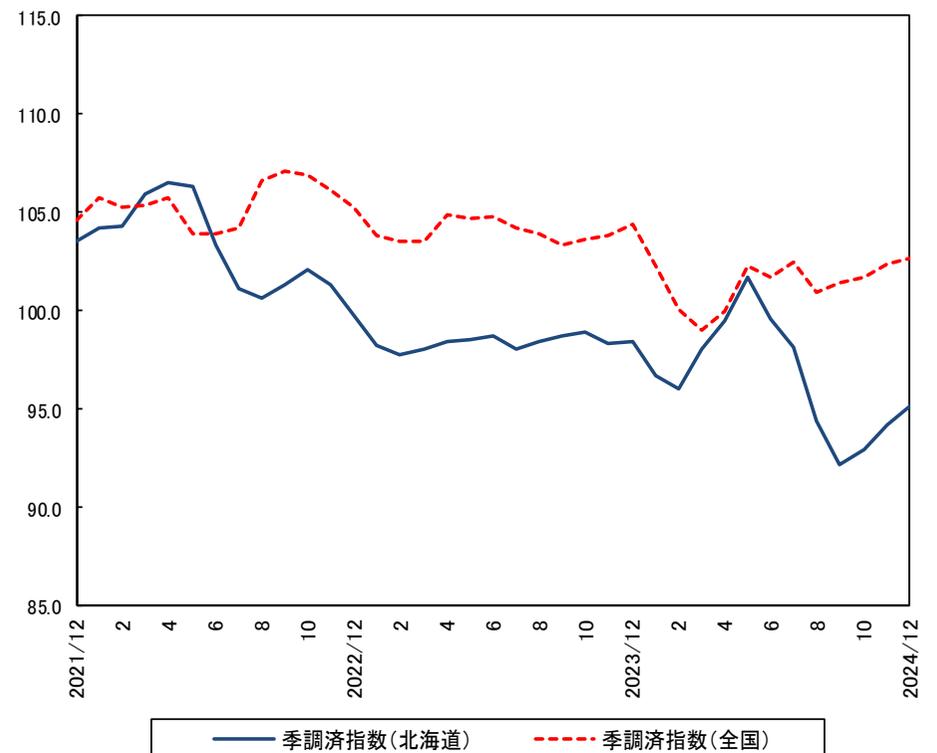
＜12月＞	
季節調整済指数	
北海道（速報）	95.6（前月比+ 0.3%）
全 国（速報）	102.1（前月比+ 0.3%）

	業 種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	主な品目
上昇 7業種	一般機械工業	+ 23.4	+ 49.8	一般機械
	金属製品工業	+ 6.8	▲ 6.9	鉄骨
	パルプ・紙・紙加工品工業	+ 3.4	▲ 1.8	洋紙
低下 6業種	化学・石油石炭製品工業	▲ 8.5	▲ 29.5	化学・石油石炭製品

鉱工業生産指数の推移 [2020年=100.0]



鉱工業生産指数の推移(3か月後方移動平均) [2020年=100.0]

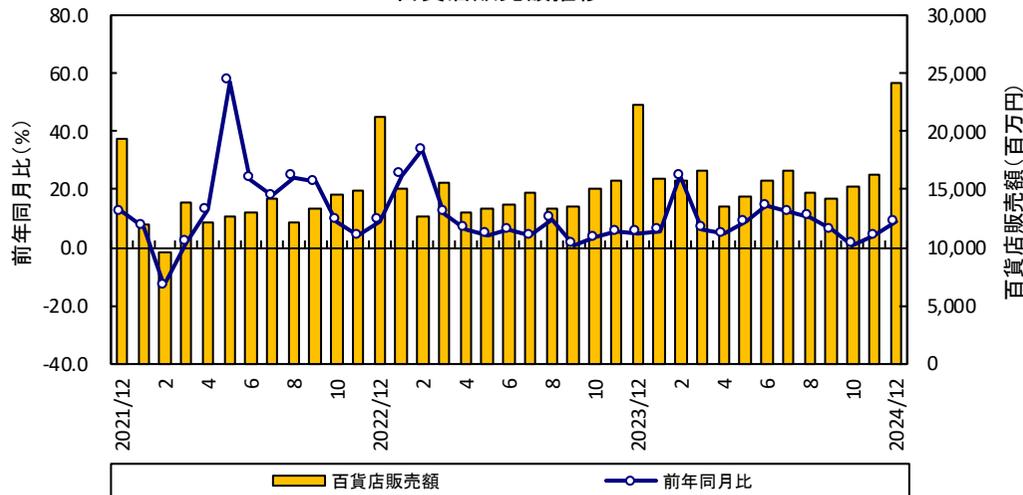


(資料：経済産業省、北海道経済産業局)

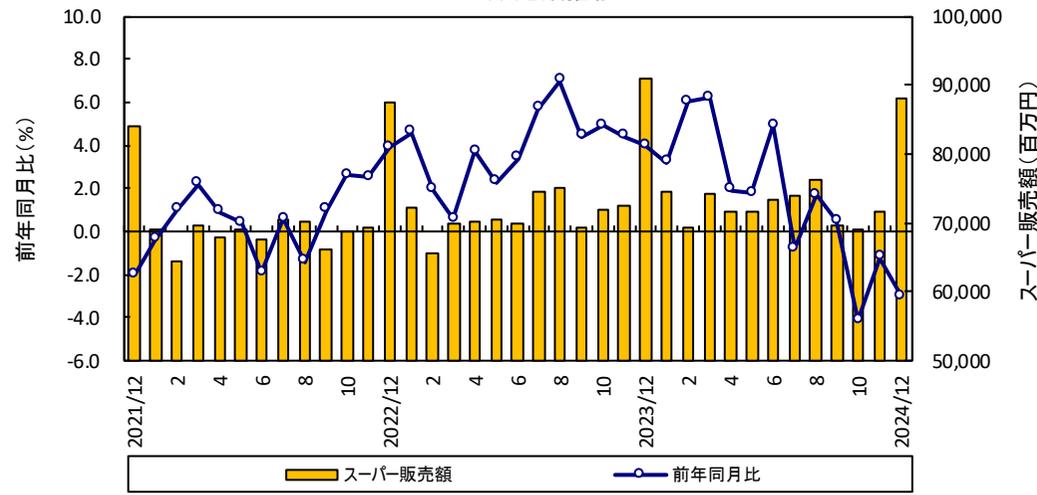
# 個人消費 ～ 改善の動きに足踏みがみられる ～

- 1 2月の個人消費は、百貨店、コンビニエンスストア、ドラッグストアが前年を上回り、他の4業態は前年を下回った。
- 百貨店は、高級ブランドの商品や化粧品などの売上げが好調で、前年同月比+9.0%と34か月連続で前年を上回った。
  - スーパーは、店舗数の減少や買上点数の伸び悩みなどから、同▲3.0%と3か月連続で前年を下回った。
  - コンビニエンスストアは、同+2.6%と3か月連続で前年を上回った。

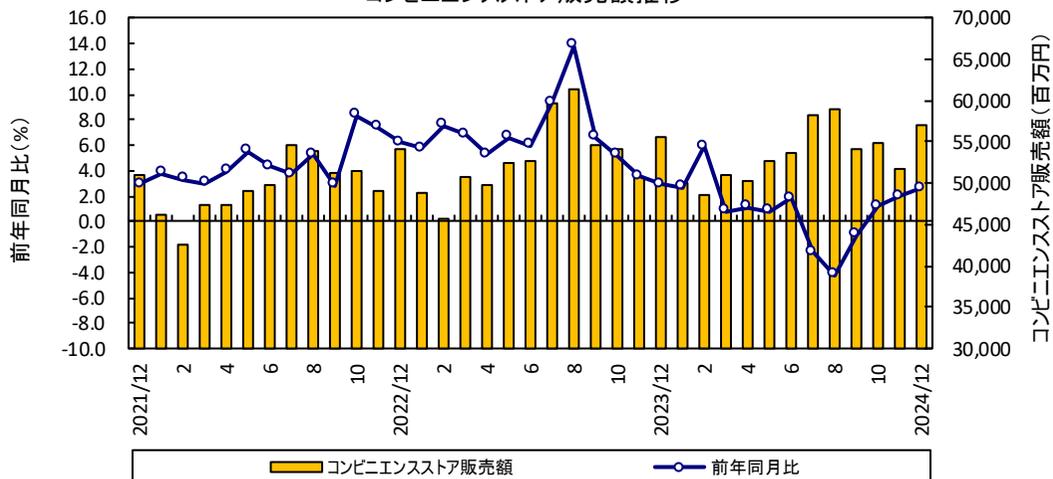
百貨店販売額推移



スーパー販売額推移



コンビニエンスストア販売額推移

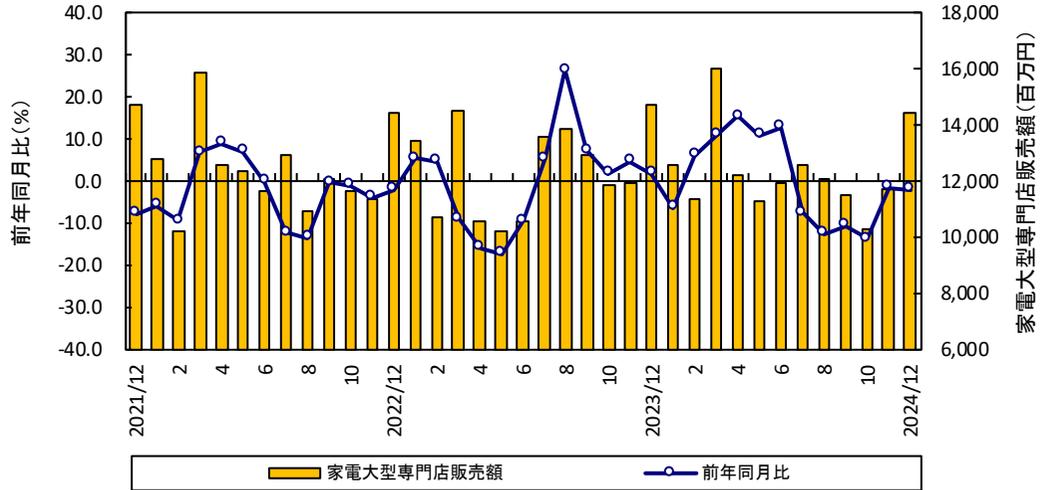


## 【ヒアリング内容】

- インバウンドの客数が増加し、高級ブランドの商品や化粧品の売上げが好調だった。また、気温の低下に伴い、コートなどの婦人衣料の売上げが伸長した。(百貨店)
- ディスカウントストアの売上げ、客数は伸長した。値上げの影響から買上点数が減少したほか、低価格帯や小容量の商品への移行がみられた。(スーパー)
- 値上げの影響や客数の増加などから、売上げは前年を上回った。札幌市中心部や観光地の売上げが伸長した。(コンビニエンスストア)

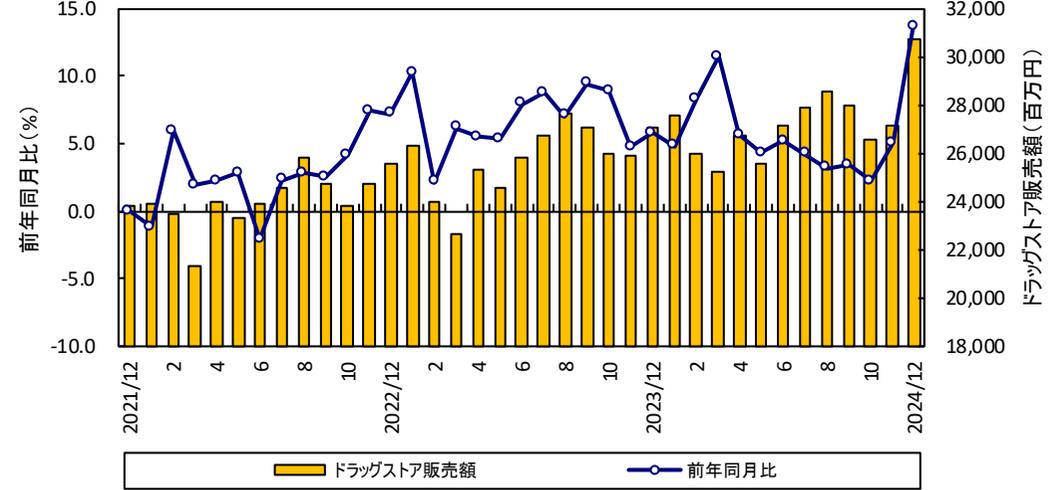
- ・家電大型専門店は、同▲2.0%と6か月連続で前年を下回った。ドラッグストアは、同+13.6%と30か月連続で前年を上回った。ホームセンターは、同▲2.3%と3か月連続で前年を下回った。
- ・新車販売は、同▲11.0%と5か月連続で前年を下回った。

家電大型専門店販売額推移



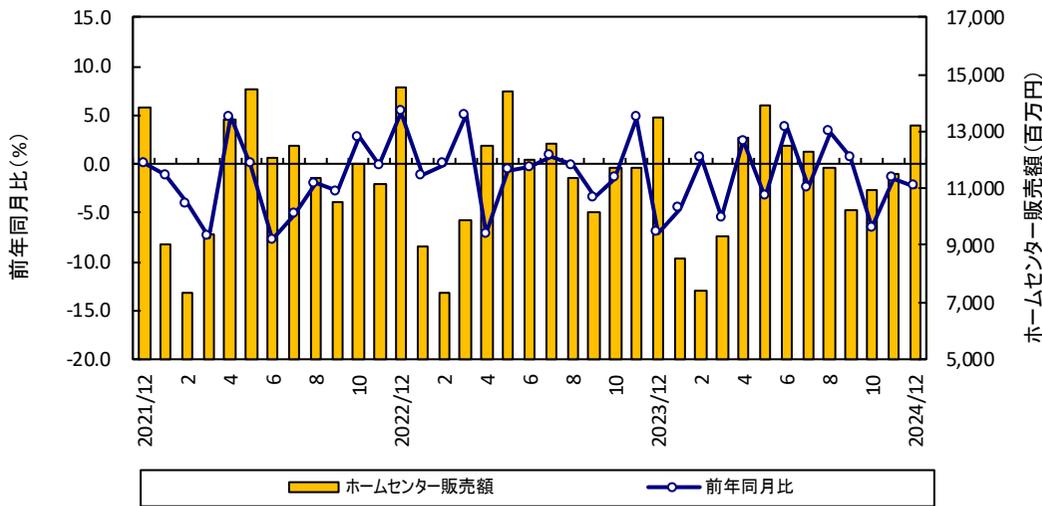
(資料：北海道経済産業局)

ドラッグストア販売額推移



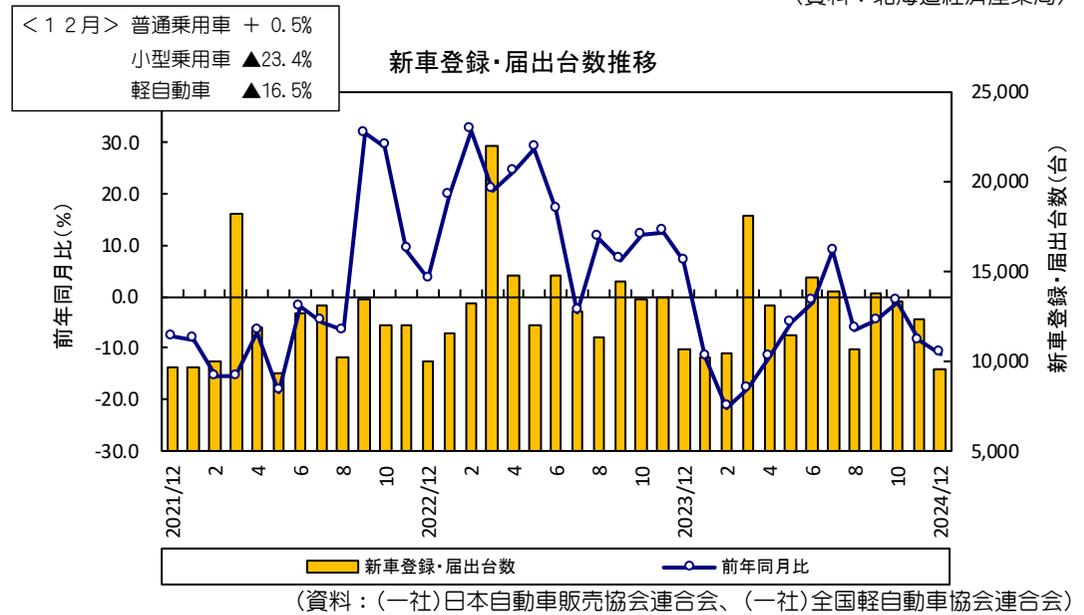
(資料：北海道経済産業局)

ホームセンター販売額推移



(資料：北海道経済産業局)

新車登録・届出台数推移



(資料：(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会)

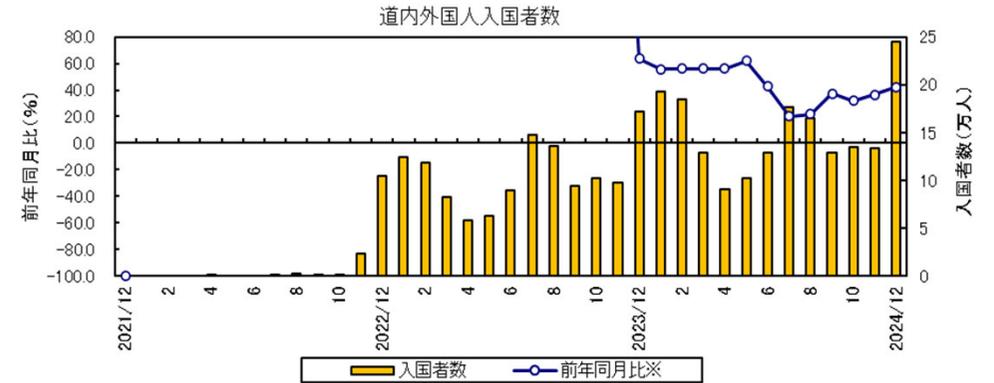
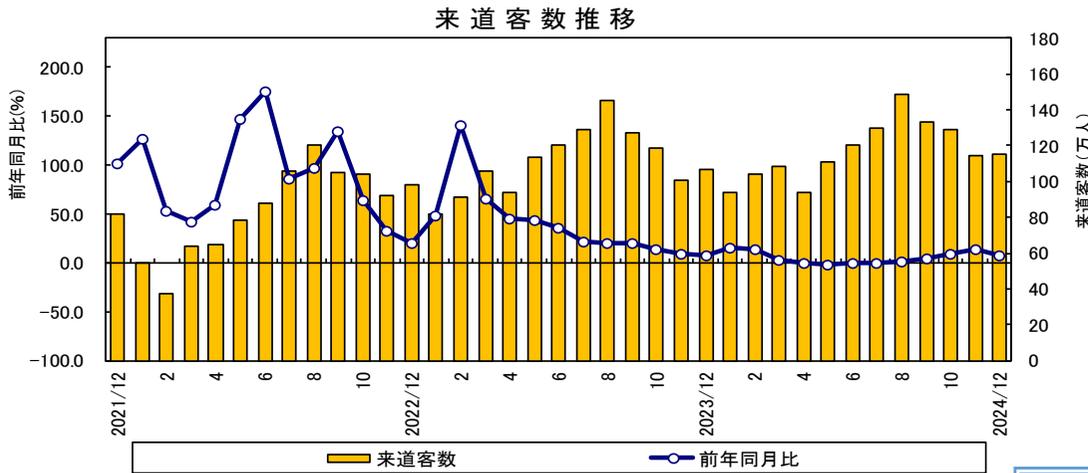
【ヒアリング内容】

- ・気温の低下に伴い、暖房機器の売上げは伸長したものの、前月までに引き続きエアコンの売上げは前年を下回った。(家電大型専門店)
- ・値上げの影響や販売促進の取組により日用品などの売上げが増加したほか、風邪などの流行により医薬品の売上げが増加した。また、インバウンドの売上げは堅調に推移している。(ドラッグストア)
- ・気温の低下に伴い、暖房機器や除雪用品の売上げは伸長したものの、食料品などの売上げは伸び悩んだ。(ホームセンター)

# 観光 ～改善している～

1 2月の来道客数は、前年同月比+8.4%と7か月連続で前年を上回った。また、道内外国人入国者数は、同+42.4%と30か月連続で前年を上回った。

< 1 2月 > 入国者数 244,696人(+42.4%)



(資料：法務省) ※2022/7及び9、2023/4及び7～11の前年同月比は著しく増加したため、便宜上表示していない。

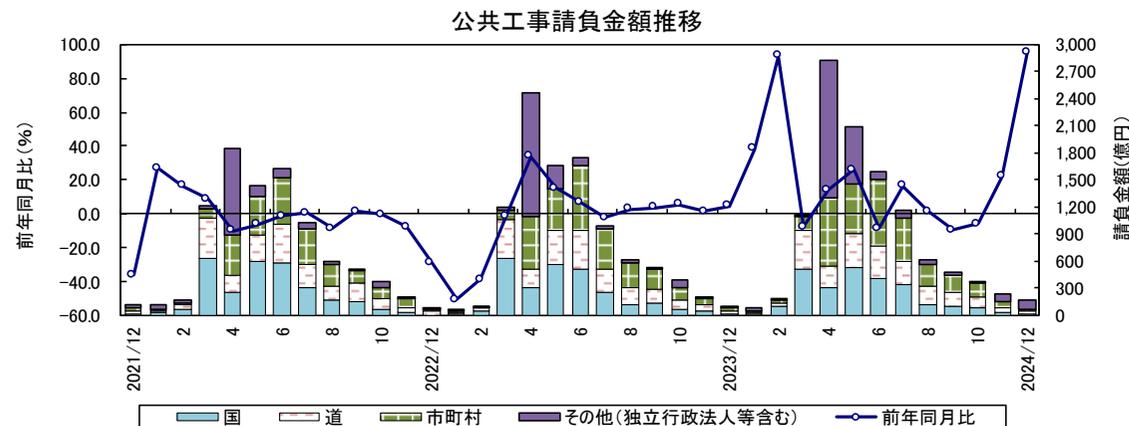
< 1 2月 > 来道客数 1,156,567人(+8.4%)  
 ※北海道外から航空機(国内線)、JR(北海道新幹線)、フェリーを利用して来道した旅客数。  
 ※道内で入国手続きを行った外国人数は含まない。

・1 2月の稼働率は2019年同月比で1割程度上回った。例年、1 2月は閑散期となるが、今年は落ち込みがみられず、秋から引き続き好調を維持している。(関係機関)

(資料：(公社)北海道観光機構)

# 公共工事 ～増加した～

1 2月の公共工事請負金額は、市町村は前年を下回ったが、国、道、その他は前年を上回り、前年同月比+95.1%と2か月連続で前年を上回った。



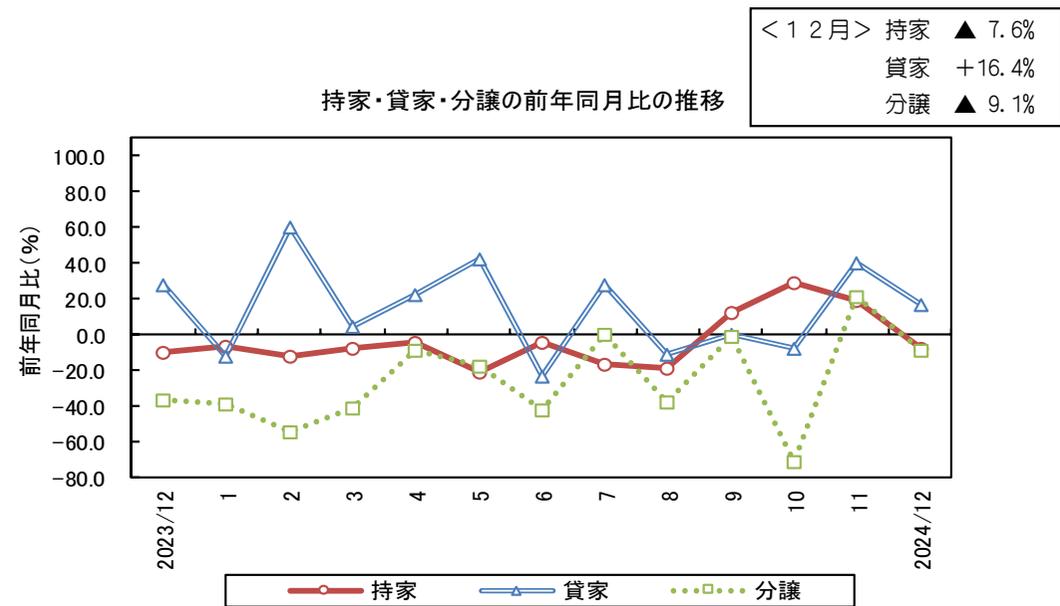
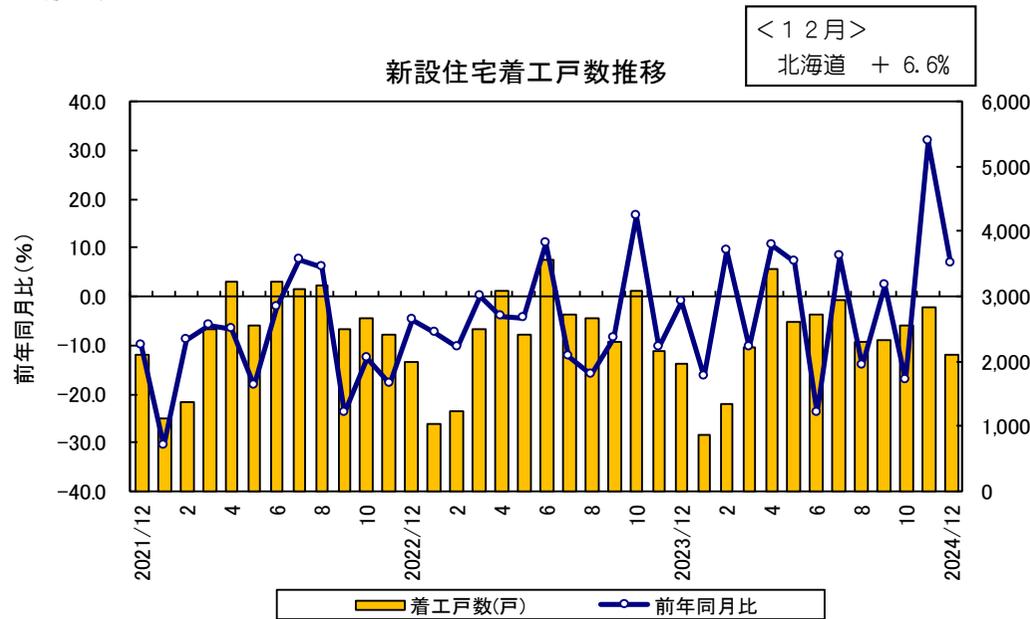
< 1 2月 >  
 北海道 +95.1%  
 (内訳)  
 国 + 6.5% 道 + 2.0% 市町村 ▲16.0% その他 +687.1%

(請負金額は国、道、市町村、独立行政法人等の合計額)

(資料：北海道建設業信用保証(株)ほか2社)

# 住宅建設 ～ 持ち直しの兆しがみられる ～

12月の新設住宅着工戸数は、持家、分譲は前年を下回ったが、貸家は前年を上回り、前年同月比+6.6%と2か月連続で前年を上回った。



(資料：国土交通省)

# 民間設備投資 ～ 増加している ～

2024年度の設備投資計画は、全体で前年度比+24.2%と3年連続で前年度を上回った。

日銀短観の設備投資動向

2024年12月13日発表

	2023年度	2024年度
北海道	+ 3.0%	+ 24.2%
製造業	+ 24.6%	+ 28.7%
非製造業	▲ 4.7%	+ 22.1%
全国	+ 10.6%	+ 9.7%

注) 土地投資額を含み、ソフトウェア投資額、研究開発投資額を除く。

注) 北海道は、電気・ガスを除くベース。

(資料：日本銀行札幌支店)

法人企業景気予測調査(北海道・設備投資)

2024年12月11日発表

	2023年度	2024年度
全産業	▲ 13.8%	+ 15.7%
製造業	+ 27.9%	+ 22.0%
非製造業	▲ 23.5%	+ 13.5%

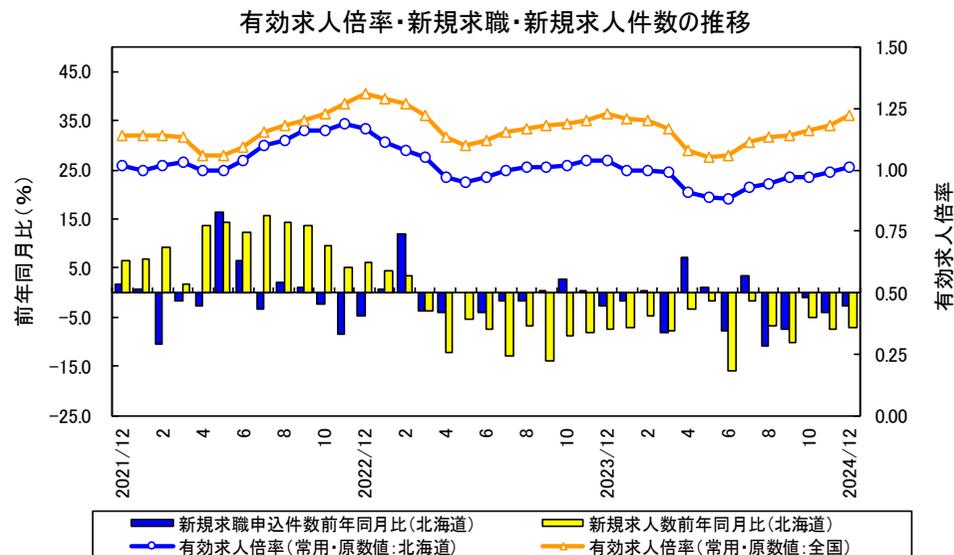
※数値は対前年比増減率。

注) ソフトウェア投資額を含み、土地購入額を除く。

(資料：北海道財務局)

# 雇用動向 ~ 弱含んでいる ~

12月の有効求人倍率は、1.01倍と前年同月差0.03ポイント低下し、21か月連続で前年を下回った。

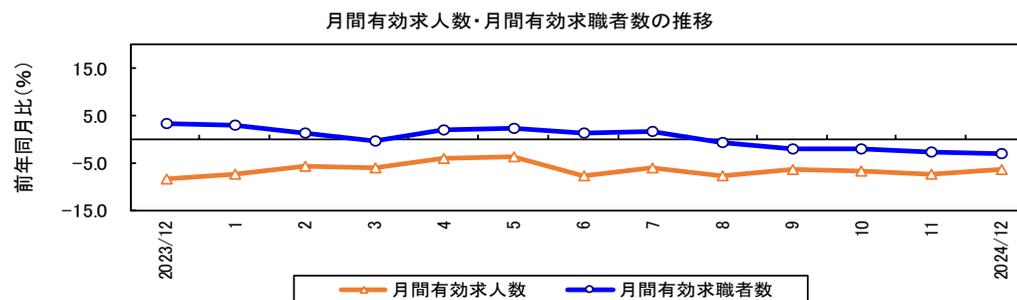


< 12月 >

北海道	有効求人倍率(常用・原数値)	1.01倍
	新規求人数(前年同月比)	▲7.1%
	新規求職申込件数(前年同月比)	▲2.8%
全国	有効求人倍率(常用・原数値)	1.22倍

< 12月 >

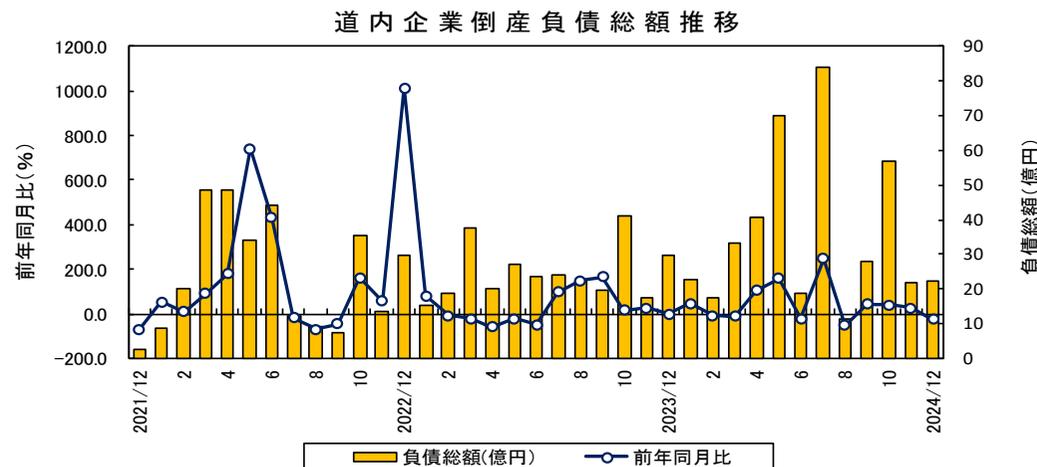
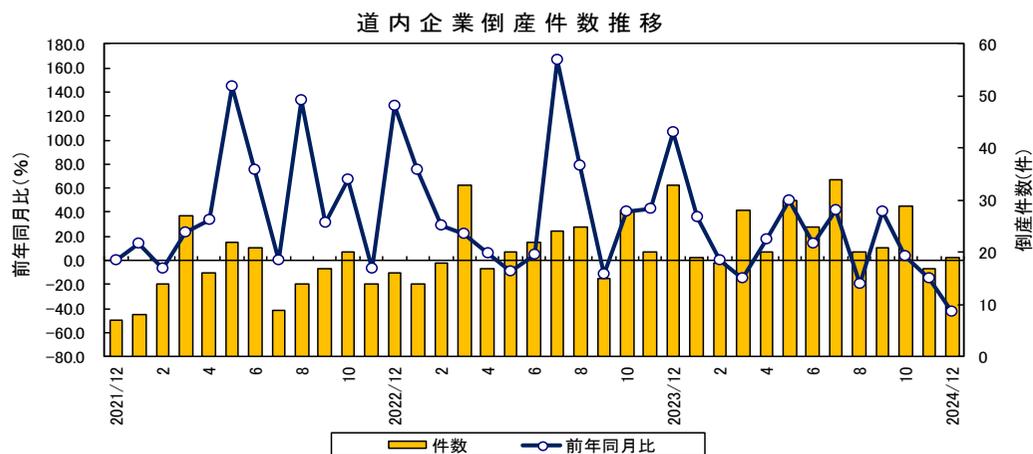
月間有効求人数	(前年同月比)	▲6.2%
月間有効求職者数	(前年同月比)	▲2.9%



(資料: 厚生労働省、北海道労働局)

# 企業倒産 ~ 件数、負債総額とも減少した ~

12月の倒産件数は19件で、前年同月比▲42.4% (14件減) と2か月連続で前年を下回った。また、負債総額は22.5億円で、同▲24.2%と4か月ぶりに前年を下回った。



(資料: (株)東京商工リサーチ)